

科目名		建築施工III			
担当教員		仁多見 透		実務授業の有無	有
対象学科		一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築の施工は、建築の技術者としての基本的な理論を理解する必要があることと、2級建築士の学科試験に合格する為の知識として、規定値を暗記する必要があるため、この2点に重点を置き講義をします。特に施工は経験工学と言われる程、実際の現場や作業の流れを視覚から理解をしないと難しい面があるので、施工写真や、図を見せながら、講義をします。また数値の暗記は語呂などを声に出させ、また、ノートに書くことで聴覚と手を動かすことで脳を刺激して記憶の定着を図ります。			
学習目標 (到達目標)		二級建築士学科試験「建築施工」において、20点（25点中）以上の取得を目指す。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		2級建築士講座テキスト【学科IV建築施工】総合資格学院 建築士講座問題集【学科IV建築施工】総合資格学院			2級
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	1・1 契約 1・2 施工計画 1・3 管理計画			達成目標：理解度確認テスト(問001-010)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問011-022)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問023-054)の正解率8割以上	
2	2・1 仮設工事 2・2 地盤・土工事・基礎 2・3 鉄筋工事			達成目標：理解度確認テスト(問055-065)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問066-079)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問080-093)の正解率8割以上	
3	2・4 型枠工事 2・5 コンクリート工事 2・6 鉄骨工事			達成目標：理解度確認テスト(問094-103)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問104-123)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問124-144)の正解率8割以上	
4	2・7 コンクリートブロック工事 2・8 ALCパネル工事 2・9 押し出し成形セメント工事			達成目標：理解度確認テスト(問145-152)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問153)の正解率10割 理解度確認テスト(問154 - 155)の正解率10割	
5	2・10 木工事 2・11 防水工事 2・12 屋根工事			達成目標：理解度確認テスト(問156-184)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問185-190)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問191 - 195)の正解率10割	
6	2・13 左官工事 2・14 左官工事・タイル・石工事（融合） 2・15 塗装工事			達成目標：理解度確認テスト(問196)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問196-207)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問208-218)の正解率8割以上	
7	2・16 建具・ガラス工事 2・17 建具・ガラス・内装工事（融合） 2・18 改修工事			達成目標：理解度確認テスト(問219)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問220-230)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問231-240)の正解率8割以上	
8	2・19 設備工事・各部工事融合 3・1 施工機械・器具 3・2 測量			達成目標：理解度確認テスト(問241-252)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問253-259)の正解率8割以上 理解度確認テスト(問260-264)の正解率9割以上	
9	3・3 積算・見積 過去問題2巡目および過去の模試問題 模擬テスト			達成目標：理解度確認テスト(問265-275)の正解率8割以上 学習方法：1・11～3・3に共通 正解率8割をめざし、未達の生徒には補習などで個別指導	
10	その他			学習方法：1・11～3・3に共通 予習－講義受講－理解度確認テスト－復習のサイクルで記憶の定着化を図る。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
	%	%	模擬試験 90 %	小テスト 10 %	施工の試験は比較的、過去問の出題割合が多いので、過去問での何でそうなるのかの理論、理屈を理解してから、その規定値を暗記すれば、必ず高得点になります。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		仁多見 透：一級建築士、一級建築施工管理技士として16年間建築施工管理に携わる。			